



ネパール

ネパール国におけるコロナウィルスによる経済的困窮家庭の
子供の新規引取りおよび在籍児童の養育事業

TCP
チベタン・チルドレンズ・
プロジェクト

TCP チベタン・チルドレンズ・プロジェクトは「ネパールで暮らすチベット人難民」の支援を目的とした、各種プログラムを提供するプロジェクトです。

現在は首都のカトマンズでチベット人の孤児を引取り、児童養育施設で養育しています。また伝統的な予防医学を継承するハーバルクリニックを運営しています。

・事業の概要

TCPはチベット難民を様々なプログラムで支援する団体です。特に児童養護施設は開設当初から12年が経過する中で、困難な社会的背景を持つチベット人の両親あるいは片親を亡くし保護された子供を引き取って養育してきました。2015年ネパール大震災や、今回のコロナ禍のような惨事の後にはいわゆる口減らしのために子供を手放す例も増加します。子供を迎える準備をすることでこのような事例に対応することができると確信しています。

・事業の結果

- ① 現地での設備の準備開始(既存のプレハブ修繕、ベッド、棚作成用の木材など物資購入と運搬、作製依頼)
- ② 引取り依頼の子供の出生等についての調査・契約開始
- ③ 引取り児童の幼稚園、学校の入学準備
- ④ コロナ禍で引き取る子供は全員到着していないが無事2人入居
- ⑤ コロナ禍で授業がオンライン授業に切り替わり、対応するためのデバイス設置



・事業の成果

2020年3月よりコロナ禍のロックダウンのため学校はオンライン授業に切り替わり、2021年1月から小学校5年生以上の登校が可能になりましたが小学校4年生以下の登校は許されていませんでした。再び3月からは全ての授業はオンラインに戻りました。



パソコンやタブレットで各自のクラスの
オンライン受講が可能になった

事業開始前からいた子供たち19名は、オンライン授業を休みなく受け、家の手伝いや年少児の世話、勉強などに精をだしました。通常よりたくさんの本も読んだりパソコンに興味を持ちました。オンラインでタブレットやパソコンを購入できたことで非常に効率よく学習することができました。



日本の高校とのオンラインイベントに参加
(中央2マスがTCP)

2月25日にウルゲンという3歳の男子が入居しました。ネパールと中国の西部国境付近から数日かけて徒歩とバスを乗り継いでTCPにやって来ました。とても明るい笑顔で人懐こい男の子です。早速年長児がよく面倒を見ています。続いて3月10日にはツェワンという4歳の男の子が入居しました。コロナで入居が遅れている他の3名についてもすでに選定して準備をしているところです。



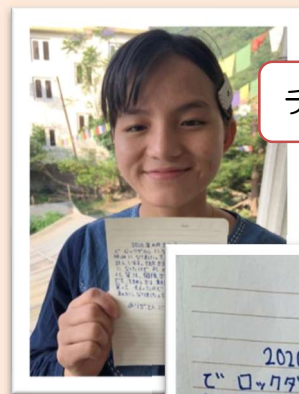
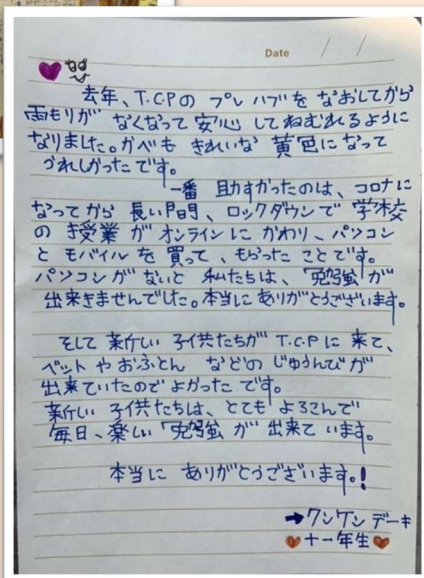
コロナ禍に迎えた子供達3人
(左からツェワン、ギャムツェ、ウルゲン)

今回基金に採択して頂いたことでコロナ禍での在宅がとても充実したものになり、さらに新入児童を迎えるための準備をすることができたことに感謝しています。新入児童の入居の計画が少し先に延びてしまっているので来年度には完了したいと考えています。

子供達からの感謝のお手紙



クンサン(中2)



チュズム(中1)

